Arcserve Backup
クラスタ & 高可用性の構成とライセンス

Sep 25, 2020 (Rev: 2.0)

arcserve®

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

ドキュメントの内容

1. 業務サーバの
   Windows Server Failover Clustering (WSFC) 構成

2. バックアップ サーバの
   Windows Server Failover Clustering (WSFC) 構成

3. アプリケーション サーバの高可用性構成
   - Exchange DAG
   - SQL Server Always On (AAG)
   - Oracle Real Application Cluster (Oracle RAC)

4. FAQ

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

1.
業務サーバの
Windows Server Failover Clustering 構成

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

物理環境のケース

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例1: アクティブ/パッシブ構成

WSFC 物理ノード: アクティブ

WSFC 物理ノード: パッシブ

仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)

バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- バックアップ サーバは非クラスタ構成
- バックアップ サーバにクラスタ ノードと全物理ノードを登録
- WSFC 共有ドライブはクラスタノードからバックアップ
- WSFC 共有ディスクを Disaster Recovery Option で復旧するには、1つの物理ノードからクォーラムと共有ドライブのすべてをバックアップ (詳細はマニュアルのクラスタの復旧を参照)

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
(Tape Library Option)	(1)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	2	
Agent for Open Files	2	ファイル サーバの場合 アプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例2: アクティブ/アクティブ構成

WSFC 物理ノード: アクティブ

WSFC 物理ノード: パッシブ

仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)

バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- バックアップ サーバは非クラスタ構成
- バックアップ サーバにクラスタ ノードと全物理ノードを登録
- WSFC 共有ドライブや SQL DB はクラスタノードからバックアップ
- WSFC 共有ディスクを Disaster Recovery Option で復旧するには、物理ノードからクォーラムや共有ドライブを選択 (詳細はマニュアルのクラスタの復旧を参照)

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
(Tape Library Option)	(1)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	2	
Agent for MS SQL	2	他のアプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例3: アクティブ/アクティブ/パッシブ構成

WSFC 物理ノード: アクティブ

仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)

WSFC 物理ノード: パッシブ

バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- バックアップ サーバは非クラスタ構成
- バックアップ サーバにクラスタ ノードと全物理ノードを登録
- WSFC 共有ディスクを Disaster Recovery Option で復旧するには、物理ノードからクォーラムや共有ドライブを選択 (詳細はマニュアルのクラスタの復旧を参照)

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
(Tape Library Option)	(1)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	3	
Agent for Open Files	3	ファイル サーバの場合 アプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

仮想環境のケース

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例4: 仮想ゲストのアクティブ/パッシブ構成

ポイント:

- 仮想環境のゲスト OS で WSFC を構成
- エージェントレスではなく、Client Agent 機能でバックアップ
- バックアップ サーバを仮想環境に構築する場合には、テープ装置以外のバックアップ装置を利用
- そのほか “構成例1: アクティブ/パッシブ構成” のポイントを参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全構成ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
Agent for Virtual Machines	2	Client Agent for Windows と Agent for Open Files ライセンスを同梱
(アプリケーション エージェント)	(2)	アプリケーション サーバの場合 ※ VSS ライタを利用する場合は不要

※ バックアップ先に iSCSI 接続の VTL (マルチ ドライブ構成) を利用する場合には、Tape Library Option を1本追加

arcserve
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例5: 仮想ゲストのアクティブ/アクティブ構成

WSFC 構成ノード: アクティブ

WSFC 構成ノード: パッシブ

仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)

バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- 仮想環境のゲスト OS で WSFC を構成
- エージェントレスではなく、Client Agent 機能でバックアップ
- バックアップ サーバを仮想環境に構築する場合には、テープ装置以外のバックアップ装置を利用
- そのほか “構成例2: アクティブ/アクティブ構成” のポイントを参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全構成ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
Agent for Virtual Machines	2	Client Agent for Windows と Agent for Open Files ライセンスを同梱
Agent for MS SQL	2	他のアプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

※ バックアップ先に iSCSI 接続の VTL (マルチ ドライブ構成) を利用する場合には、Tape Library Option を1本追加

arcserve
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例6: 仮想ゲストのアクティブ/アクティブ/パッシブ構成

ポイント:

- 仮想環境のゲスト OS で WSFC を構成
- エージェントレスではなく、Client Agent 機能でバックアップ
- バックアップ サーバを仮想環境に構築する場合には、テープ装置以外のバックアップ装置を利用
- そのほか “構成例3: アクティブ/アクティブ/パッシブ構成” のポイントを参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全構成ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
Agent for Virtual Machines	3	Client Agent for Windows と Agent for Open Files ライセンスを同梱
(アプリケーション エージェント)	(3)	アプリケーション サーバの場合 ※ VSS ライタを利用する場合は不要

※ バックアップ先に iSCSI 接続の VTL (マルチ ドライブ構成) を利用する場合には、Tape Library Option を 1本追加

arcserve
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

WSFC 対応: エージェント製品

対応製品	補足
Client Agent for Windows	サポート対象の WSFC 構成ノード数は OS 側制限に依存 ※エージェントのフェールオーバ機能なし (各物理ノードのローカル ドライブにエージェントを導入)
Agent for Open Files	Client Agent for Windows と同じ ファイル サーバや SQL Server の VSS ライタ経由のバックアップに利用
Agent for MS SQL	Client Agent for Windows と同じ
Agent for Virtual Machines (VM Agent per Host)	ゲスト OS で WSFC を構成する場合、エージェントレス方式では WSFC 共有ドライブがスキップとなるため、Agent for Virtual Machines に含まれる Client Agent 機能でバックアップ Hyper-V ホスト クラスタも Agent for Virtual Machines でサポート
Agent for MS SharePoint	SharePoint ファーム内にある WSFC 構成の SQL Server をサポート
Agent for MS Exchange	Agent for Exchange の動作要件に Exchange Server 2007 以前のバージョンが掲載されている場合のみ WSFC 構成をサポート (Exchange Server 2010 以降は DAG 構成)
Agent for Oracle	Client Agent for Windows と同じ ※Agent for Oracle の動作要件に Oracle Fail Safe と記載のある Oracle と Oracle Fail Safe のバージョンの組み合わせをサポート

* Domino サーバ の WSFC 構成は未サポート

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

2.
バックアップ サーバの
Windows Server Failover Clustering 構成

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

バックアップ サーバの WSFC 構成

ジョブ フェールオーバ構成 (アクティブ/パッシブ)

- バックアップ サーバをクラスタ リソースとして登録し、クラスタで動作
- ジョブ実行中にフェールオーバが発生すると、フェールオーバ後に自動実行

物理ノード構成 (アクティブ/パッシブ クラスタと兼用)

- WSFC 構成の業務サーバ (アクティブ/パッシブ) にバックアップ サーバを同居
- バックアップ サーバはローカル ドライブに導入し、クラスタには依存させない

物理ノード構成 (アクティブ/アクティブ クラスタと兼用)

- WSFC 構成の業務サーバ (アクティブ/アクティブ) にバックアップ サーバを同居
- バックアップ サーバはローカル ドライブに導入し、クラスタには依存させない

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例1: ジョブ フェールオーバ構成

WSFC 物理ノード: アクティブ

WSFC 物理ノード: パッシブ

WSFC クラスタ ノード (仮想クラスタ サーバ)

ポイント:

- 2ノードのアクティブ/パッシブ クラスタとしてバックアップ サーバを構築 (バックアップ サーバは実質1台、クラスタ ノード名で動作)
- ジョブ実行中にフェールオーバが発生した場合、引き継いだバックアップ サーバで自動的にジョブを再実行
- Client Agent としてアクティブとパッシブの物理ノードを登録
- WSFC 共有ドライブはクラスタノードからバックアップ
- WSFC 共有ディスクを Disaster Recovery Option で復旧するには、1つの物理ノードからクォーラムと共有ドライブのすべてをバックアップ (詳細はマニュアルのクラスタの復旧を参照)

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	2	
Disaster Recovery Option	2	
(Tape Library Option)	(2)	マルチドライブのライブラリ装置の場合

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例2:クラスタ構成の業務サーバ兼ジョブ フェールオーバ構成

ポイント:

- 2ノードのクラスタ構成の業務サーバに、ジョブ フェールオーバ構成のバックアップ サーバを構築し、物理ノードを効率良く利用
- その他のポイントは “構成例1: ジョブ フェールオーバ構成” と業務サーバの “構成例1: アクティブ/パッシブ構成”を参照 (Disaster Recovery Optionで共有ディスクを復旧する場合は、Arcserve Backup の導入ドライブとクォーラムは同じ物理ノードから取得)

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	2	
Disaster Recovery Option	2	
(Tape Library Option)	(2)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Agent for Open Files	2	ファイル サーバの場合 アプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例3: ジョブ フェールオーバ構成と業務サーバ ①

ポイント:

- バックアップ サーバも業務サーバもクラスタ構成、かつバックアップ サーバは 2ノードのジョブ フェールオーバ構成
- その他のポイントは “構成例1: ジョブ フェールオーバ構成” と業務サーバの “構成例3: アクティブ/アクティブ/パッシブ構成”を参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	2	
Disaster Recovery Option	2	
(Tape Library Option)	(2)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	3	
Agent for Open Files	3	ファイル サーバの場合 アプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例4: ジョブ フェールオーバ構成と業務サーバ ②

ポイント:

- バックアップ サーバも業務サーバもクラスタ構成、かつバックアップ サーバは 2ノード クラスタ構成の業務サーバに、ジョブ フェールオーバとして同居
- その他のポイントは “構成例2: クラスタ構成の業務サーバ兼ジョブ フェールオーバ構成” と業務サーバの “構成例3: アクティブ/アクティブ/パッシブ構成”を参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	2	
Disaster Recovery Option	2	
(Tape Library Option)	(2)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	3	
Agent for Open Files	5	ファイル サーバの場合 アプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例5: ジョブ フェールオーバ構成とテープ装置の SAN 共有 ①

ポイント:

- ジョブ フェールオーバ構成のバックアップ サーバでテープ装置を共有 (バックアップ サーバは実質2台、クラスタ ノード名で動作)
- SAN プライマリでフェールオーバが実行された場合、手動で SAN メンバの Tape Engine サービスを再起動
- その他のポイントは “構成例1: ジョブ フェールオーバ構成” を参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- テープ装置を共有するため、SAN Option を適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	1台目の物理バックアップ サーバ用
Disaster Recovery Option	4	
Central Management Option	1	1台目の物理バックアップ サーバ用
SAN Option	1	1台目の物理バックアップ サーバ用
SAN Secondary Server Bundle	3	2台目以降の物理バックアップ サーバ用

※ 仮想ゲスト OS で WSFC を構成する場合、SAN Option (テープ装置の SAN 共有) は未サポート

arcserve
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例6: ジョブ フェールオーバ構成とテープ装置の SAN 共有 ②

WSFC 物理ノード: アクティブ
WSFC 物理ノード: パッシブ
仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)
バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- SAN プライマリのみ WSFC ジョブ フェールオーバ構成とし、複数のバックアップ サーバでテープ装置を共有 (バックアップ サーバは実質2台、 SAN プライマリはクラスタ ノード名で動作)
- SAN プライマリでフェールオーバが実行された場合、手動で SAN メンバの Tape Engine サービスを再起動
- その他のポイントは “構成例1: ジョブ フェールオーバ構成” を参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- テープ装置を共有するため、SAN Option を適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	1台目の物理バックアップ サーバ用
Disaster Recovery Option	3	
Central Management Option	1	1台目の物理バックアップ サーバ用
SAN Option	1	1台目の物理バックアップ サーバ用
SAN Secondary Server Bundle	2	2台目以降の物理バックアップ サーバ用

※ 仮想ゲスト OS で WSFC を構成する場合、SAN Option (テープ装置の SAN 共有) は未サポート

arcserve
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例7: 物理ノード構成 (アクティブ/パッシブと同居)

WSFC 物理ノード: アクティブ

仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)

WSFC 物理ノード: パッシブ

バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- 業務サーバのアクティブ/パッシブ クラスタにバックアップ サーバを非クラスタのスタンドアロンとして同居
- バックアップ サーバはローカル ドライブに導入し、ジョブ フェールオーバは実施しない
- 業務サーバのポイントは、業務サーバの “構成例1: アクティブ/パッシブ構成” を参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	2	
Disaster Recovery Option	2	
(Tape Library Option)	(2)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Agent for Open Files	2	ファイル サーバの場合 アプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例8: 物理ノード構成 (アクティブ/アクティブと同居)

WSFC 物理ノード: アクティブ

仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)

WSFC 物理ノード: パッシブ

バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- 業務サーバ (DB サーバなど) のアクティブ/アクティブ クラスタにバックアップ サーバを非クラスタのスタンドアロンとして同居
- バックアップ サーバはローカル ドライブに導入し、ジョブ フェールオーバは実施しない
- 業務サーバのポイントは、業務サーバの “構成例2: アクティブ/アクティブ構成” を参照

ライセンス:

- ライセンスはクラスタを構成する全物理ノードに適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	2	
Disaster Recovery Option	2	
(Tape Library Option)	(2)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Agent for MS SQL	2	他のアプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例10: 物理ノード構成 (一部のクラスタ構成ノードと同居)

WSFC 物理ノード: アクティブ
WSFC 物理ノード: パッシブ
仮想クラスタ サーバ (クラスタ ノード)
バックアップ サーバ (非クラスタ)

ポイント:

- クラスタ構成ノードの一部 (ここではパッシブ) にバックアップ サーバを非クラスタのスタンドアロンとして同居
- バックアップ サーバはローカル ドライブに導入し、ジョブ フェールオーバは実施しない
- そのほか、業務サーバの “構成例3: アクティブ/アクティブ/パッシブ構成” を参照

ライセンス:

- クラスタ構成の一部の物理ノードをバックアップ サーバとして構築する場合、残るノードでは Client Agent を適用
- クラスタ復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
(Tape Library Option)	(1)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	2	バックアップ サーバを同居しないノード用
Agent for Open Files	3	ファイル サーバの場合 アプリケーション サーバの場合はそれぞれのエージェント製品を適用

arcserve
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

WSFC 対応: 本体およびオプション製品

対応製品	補足
Arcserve Backup 本体	WSFC構成ノード数は OS 側制限に依存 ※ジョブ フェールオーバの場合には、基本的に 2 ノードの “アクティブ / パッシブ” で構成 (ジョブ フェールオーバ構成の場合、1台の物理ノードに複数の Arcserve クラスタ リソースを所有する “アクティブ / アクティブ” や “アクティブ / アクティブ / パッシブ” は未サポート)
Central Management Option	Arcserve Backup 本体と同じ
Global Dashboard	Arcserve Backup 本体と同じ
Disaster Recovery Option	Arcserve Backup 本体と同じ クラスタ構成ノードの復旧には、物理ノードからシステムとクォーラムをバックアップ
Enterprise Module	Arcserve Backup 本体と同じ raw ボリューム はクラスタ ノードでは表示されないため、物理ノードからバックアップ
Tape Library Option	Arcserve Backup 本体と同じ ※ 仮想環境の WSFC 構成の場合、Tape Library Option は iSCSI 経由の VTL 利用時のみ
SAN Option	Arcserve Backup 本体と同じ SAN プライマリでジョブ フェールオーバ構成を組む場合、フェールオーバ後に SAN メンバサーバで “Tape Engine サービス” を再起動 ※ 仮想環境の WSFC 構成の場合、SAN Option は 未サポート
NDMP NAS Option	WSFC構成なし、WSFC構成の Arcserve Backup 本体への導入をサポート

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

3.
アプリケーション サーバの高可用性構成

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例1: Exchanger Server データベース可用性グループ (DAG)

ポイント:

- バックアップ サーバの Exchange 組織下に Active Directory の情報を入力し、Exchange DAG 構成を登録
- DAG 構成の Exchange DB はパッシブ側からバックアップ

ライセンス:

- ライセンスは DAG を構成する全ノードに適用
- DAG のシステム復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
(Tape Library Option)	(1)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	3	
Agent for MS Exchange	3	

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

構成例2: SQL Server Always On 可用性グループ (AAG)

ポイント:

- 可用性グループ (AG) の DB はプライマリからバックアップ (設定を変更することでセカンダリからバックアップも可)

ライセンス:

- ライセンスは AAG を構成する全ノードに適用
- AAG のシステム復旧のため、Disaster Recovery Option を適用

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
Disaster Recovery Option	1	
(Tape Library Option)	(1)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent for Windows	2	
Agent for MS SQL	2	

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved. .

構成例3: Oracle Real Application Clusters (Oracle RAC)

ポイント:

- Arcserve の UI から RMAN を利用してバックアップ
- CRS フレームワークと Voting Disk は Oracle RAC の機能 (ocrconfig/ocopy) でバックアップ
- そのほか Oracle RAC の ASM および raw devices の区画割や ASM 設定は OS および Oracle 側で再構築

ライセンス:

- ライセンスは Oracle RAC を構成する全ノードに適用
- Oracle RAC の共有ディスクの設定はバックアップ ソフトで復旧できないため、Disaster Recovery Option は任意

必要な製品	本数	補足
Arcserve Backup 本体	1	
(Disaster Recovery Option)	(1)	Oracle が Linux もしくは UNIX の場合、復旧対象はバックアップ サーバのみ
(Tape Library Option)	(1)	マルチドライブのライブラリ装置の場合
Client Agent	3	Oracle のプラットフォームでWindows版/Linux版/UNIX版を選択
Agent for Oracle	3	Oracle のプラットフォームでWindows版/Linux版/UNIX版を選択

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

4.
FAQ

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

WSFC 関連の FAQ ①

1. Arcserve Backup のどのバージョンから WSFC をサポートしていますか?

2000年にリリースした Arcserve Backup 2000 からサポートしています。
詳細は バージョン別機能一覧 をご覧ください。

2. WSFC 環境にバックアップ サーバを導入する場合、ハードディスクやクラウドへのバックアップをサポートしますか?

はい、サポートします。
ジョブ フェールオーバ構成のバックアップ サーバからハードディスクにバックアップする場合には、共有フォルダや WSFC 共有ドライブなど、フェールオーバ後でもアクセスできるパスで FSD や DDD を設定してください。

3. バックアップ サーバを導入する場合、ジョブ フェールオーバ構成と物理ノード構成はどうやって導入すればいいですか?

WSFC 環境のサーバに Arcserve Backup ベース製品 (本体) の導入を選択すると、導入中に “クラスタ環境インストール (MSCS)” の項目が出てきます。バックアップ サーバをジョブ フェールオーバで構成する場合、この項目にチェックを付け、導入パスに WSFC の共有ドライブを選択してください。ジョブ フェールオーバ構成では、さらに MSCS 用の HA リソース作成と、HA リソースのオンラインの項目が出てきますが、この2つの項目については、1台目にはチェックを付けず、最後に導入するバックアップ サーバでチェックを付けます。

バックアップ サーバを物理ノードとして構成する場合は、導入先に各サーバのローカル パスを指定し、“クラスタ環境インストール (MSCS)” の項目はチェックを付けずに導入します。

4. バックアップ サーバでフェールオーバを行わせずにサービスを停止するにはどうすればいいですか?

ジョブ フェールオーバ構成のバックアップ サーバ場合、一部のサービス停止や再起動を行うと、パッシブ ノード側にフェールオーバが行われます。
フェールオーバを行わずにサービス停止や再起動を行うには、事前に OS 側のフェールオーバー クラスター マネージャーから バックアップ サーバのクラスタ ノードにある “Arcserve ASDB”, “Arcserve HA”, “Arcserve Registry” の3つのリソースのプロパティを開き、プロパティ画面にある “リソースが失敗状態になった場合は、再起動しない” にチェックを付けてください。

サービス開始や再起動後は、3つのリソースのプロパティを開き、プロパティ画面にある “リソースが失敗状態になった場合は、現在のノードで再起動を試みる” を選択し、“再起動に失敗した場合は、このサービスまたはアプリケーションのすべてのリソースをフェールオーバーする” チェックを付けます。
詳細は フェールオーバ構成へのバックアップ サーバの導入 をご覧ください。

arcserve ©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

WSFC 関連の FAQ ②

5. ジョブ フェールオーバ構成の導入で、最後の HAリソースの作成にチェックを付け忘れた場合、どうすればいいですか?

コマンド プロンプトを開き、Arcserve Backup の導入パスで下記コマンドを実行してください。

babha -postsetup

6. Disaster Recovery Option を導入しないと WSFC 環境を復旧できませんか?

Disaster Recovery Option を導入しない場合、WSFC のクォーラムを復元するために別の LUN が1つ必要になります。Disaster Recovery Option を利用する場合は、既存のクォーラム領域に復旧できます。また WSFC 構成ノードの復元も簡単になります。

7. 仮想環境の WSFC 構成をサポートしますか?

はい、サポートします。
ゲスト OS で WSFC を構成される場合、エージェントレス方式では共有ドライブがスキップとなるため、Client Agent の機能でバックアップします。そのほかサポート対象や制限は、クラスタを構成しない仮想環境と同じです。

8. WSFC 環境の復旧方法についてドキュメントはありませんか?

Arcserve Backup r16 のドキュメントですが、復旧方法は変わらないため、こちらのドキュメントをご覧ください。

ジョブ フェールオーバ構成のバックアップ サーバの復旧
WSFC リモート ノードの復旧

9. WSFC 環境のバックアップを行うと、ライセンス不足が発生します。ライセンスの追加購入が必要なのでしょうか?

導入構成によって変わりますので、ライセンスデスク の FAQ をご覧ください。ライセンスについてのご不明点はFAQ記載のライセンスデスクまでお問い合わせください。

クラスタ構成での仮想ノード用ライセンスキーのお申込み

10.Arcserve UDP Premium Edition で購入する場合のライセンスはどうなりますか?

Arcserve UDP Premium Edition は Arcserve Backup とライセンス ポリシーがいくつか異なりますので、ご購入前の問い合わせ窓口である Arcserve ジャパン ダイレクト までお問い合わせください。

arcserve®
©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.

製品情報とお問い合わせ窓口

Arcserve ポータルサイト： arcserve.com/jp

カタログセンター （カタログ、技術資料: スケジュール設定例, バージョン比較など）

https://arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/

Arcserve カタログセンター　検索

Arcserve ジャパン ダイレクト （ご購入前のお問い合わせ窓口）

例：「必要なライセンスは？ 」、「XXXをサポートしますか？」 等など

フリーダイヤル： **0120-410-116**

（平日 9：00～17：30　※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）

Webフォーム： https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/

メール アドレス: JapanDirect@arcserve.com

©2014-2020 Arcserve(USA), LLC. All rights reserved.